



2023年8月8日

各位

会社名 株式会社 ラック  
代表者名 代表取締役社長 西本逸郎  
(コード番号：3857 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員 鎌田寿雄  
電 話 03-6757-0100

## 株式給付信託および従業員向け株式給付信託への追加拠出に伴う

### 第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、第三者割当による自己株式の処分（以下「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 処分の概要

|                   |  |
|-------------------|--|
| (1) 処 分 期 日       | 2023年8月24日(木)                                |
| (2) 処分する株式の種類および数 | 普通株式 323,000 株                               |
| (3) 処 分 価 額       | 1株につき金 750 円                                 |
| (4) 処 分 総 額       | 242,250,000 円                                |
| (5) 処 分 予 定 先     | 株式会社日本カストディ銀行（信託E口）                          |
| (6) そ の 他         | 本自己株式の処分については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とします。 |

#### 2. 処分の目的および理由

当社は、2016年6月21日開催の定時株主総会の決議に基づき、「株式給付信託」（以下「株式給付信託制度」といい、株式給付信託制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結した信託契約に基づいて設定されている信託を「株式給付信託」といいます。）を導入しております（株式給付信託制度の概要につきましては、2016年5月11日付「株式給付信託導入に関するお知らせ」および2020年6月19日付「株式給付信託の改定に関するお知らせ」をご参照下さい。）。

また、当社は、2016年6月21日開催の取締役会の決議に基づき、「株式給付信託」（以下「従業員向け株式給付信託制度」といい、従業員向け株式給付信託制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結した信託契約に基づいて設定されている信託を「従業員向け株式給付信託」といいます。）を導入しております（従業員向け株式給付信託制度の概要につきましては、2016年6月21日付「従業員向け株式給付信託の導入に関するお知らせ」をご参照下さい。）。

今般、当社は、株式給付信託制度および従業員向け株式給付信託制度（以下、併せて「本制度」といいます。）の継続に当たり、将来の給付に必要なと見込まれる株式を株式給付信託および従業員向け株式給付信託が取得するため、株式給付信託、従業員向け株式給付信託それぞれに対する金銭の追加拠出（以下「追加信託」といいます。）を行うこと、ならびに本制度の運営に当たって当社株式の保

有および処分を行うため株式会社日本カストディ銀行（株式給付信託および従業員向け株式給付信託の受託者たるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けた再信託受託者）にそれぞれ設定されている信託E口に対し、第三者割当により自己株式を処分すること（本自己株式処分）を決定いたしました。

処分数量については、「役員株式給付規程」に基づき信託期間中に当社の取締役（非業務執行取締役を除き、取締役会長を含みます。）および取締役を兼務しない執行役員に給付すると見込まれる株式数に相当するもの（2023年3月末日で終了する事業年度から2025年3月末日で終了する事業年度までの3事業年度分で145,000株）ならびに「従業員株式給付規程」に基づき当社の従業員に給付すると見込まれる株式数に相当するもの（2024年3月末日で終了する事業年度から2025年3月末日で終了する事業年度までの2事業年度分で178,000株）の合計であり、2023年3月31日現在の発行済株式総数31,293,120株に対し1.03%（2023年3月31日現在の総議決権個数305,444個に対する割合1.06%（いずれも小数点第3位を四捨五入））となりますが、本自己株式処分による株式が一時に株式市場に流出することは考えられません。

また、当社としては、本自己株式処分は取締役等の報酬、従業員のインセンティブと当社株式価値の連動性を明確にし、当社の企業価値向上に繋がるものと考えています。

以上のことにより、流通市場への影響は軽微であり、株式の希薄化の規模は合理的であると判断しております。

#### ※株式給付信託に対する追加信託の概要

追加信託日 2023年8月24日

追加信託金額 91,750,000円（注）

取得する株式の種類 当社普通株式

取得株式数 145,000株

株式の取得日 2023年8月24日

株式取得方法 当社の自己株式処分（本自己株式処分）を引き受ける方法により取得

（注）株式給付信託は、追加信託金額（91,750,000円）および信託財産に属する金銭（17,000,000円）の総額を原資として当社株式の追加取得を行います。

#### ※従業員向け株式給付信託に対する追加信託の概要

追加信託日 2023年8月24日

追加信託金額 120,500,000円（注）

取得する株式の種類 当社普通株式

取得株式数 178,000株

株式の取得日 2023年8月24日

株式取得方法 当社の自己株式処分（本自己株式処分）を引き受ける方法により取得

（注）従業員向け株式給付信託は、追加信託金額（120,500,000円）および信託財産に属する金銭（13,000,000円）の総額を原資として当社株式の追加取得を行います。

### 3. 処分価額の算定根拠およびその具体的内容

処分価額につきましては、本自己株式処分の取締役会決議日の直前営業日までの1か月間（2023年7月10日から2023年8月7日まで）の東京証券取引所における当社普通株式の終値平均である750円（円未満切捨）といたしました。

取締役会決議日の直前営業日までの1か月間の終値平均を基準としたのは、特定の一時点を基準にするより、一定期間の平均株価という平準化された値を採用する方が、一時的な株価変動の影響など特殊要因を排除でき、算定根拠として客観性が高く合理的であると判断したためです。また、算定期間を直近1か月としたのは、直近3か月、直近6か月と比較して、直近のマーケットプライスに最も近い一定期間を採用することが合理的であると判断したためです。

なお処分価額750円については、取締役会決議日の直前営業日の終値750円に対して100.00%を乗じた額であり、取締役会決議日の直前営業日から遡る直近3か月間の終値平均730円（円未満切捨）に対して102.74%を乗じた額であり、さらに同直近6か月間の終値平均721円（円未満切捨）に対して104.02%を乗じた額となっております。上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、特に有利なものとはいえず、合理的なものとして判断しております。

なお、上記処分価額につきましては、取締役会に出席した監査役3名（うち2名は社外監査役）が、特に有利な処分価額には該当しない旨の意見を表明しております。

### 4. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希釈率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手および株主の意思確認手続は要しません。

以上